


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【田村市立船引南中学校】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生 77名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	障がい者スポーツ体験を通して、スポーツの多様性や楽しさを体感するとともに、パラリンピックの理念に基づいた共生社会形成についての理解を深める。
5 取組内容	<p>○ 5月10日 校内推進委員会を設置し、事業計画作成及び研究推進テーマを決定した。</p> <p>○ 5月20日 総合的な学習の時間に、事前アンケート及びパラリンピックの理念についての事前学習を実施した。</p> <p>○ 6月10日 総合的な学習の時間に、福島県障がい者スポーツ協会から、講師2名をお招きし、ボッチャ体験授業を実施した。</p> <p>〈ボッチャ体験授業の様子〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ボッチャ体験授業終了後、事後アンケート及び学習の振り返りを実施した。</p>

<p>6 主な成果</p>	<p>ボッチャ体験授業を通して、オリンピック・パラリンピックの興味関心が高まった。また、全校生でボッチャ競技の面白さや奥深さを共有できたことで、障がい者スポーツについての認知が広がった。</p> <p>なお、事後のアンケートや振り返りでは、以下のような意見・感想が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3年生の先輩や先生とチームを組めて、いつもと違う人と話し合っただけで活動できたのが楽しかった。 ・ 最初は、ルールが分からなかったけど、わかるとすごく楽しい。パラリンピックでボッチャを絶対見る。家族にもルールを教える。 ・ とてもよく考えられたルールだと思う。誰でも楽しめるように作った人はすごいと思う。 <p>性別や年齢、体力差などに左右されないボッチャ競技の特性を知ることにより、多様性や共生社会形成等に対する理解の深まりがみられた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○ 本校は、全校生徒数が77名と小規模校であるため、全校生が本事業に参加できるよう工夫した。実際の授業では、学年の枠を超えて、8人1組のチームを編成し、実戦形式でボッチャ競技の体験をすることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○ 体験中心の内容となってしまう、オリンピック・パラリンピックの理念や歴史等にふれる機会が少なかった。講話と体験のバランスを考慮する必要がある。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 本事業を契機として、ボッチャ競技に対する興味関心が学校全体で高まっているので、来年度以降は、学校行事である球技大会の種目でボッチャを採用するなど、本事業で得た成果の継続・発展を図っていきたい。</p>